

会 議 錄

1 会議名

令和 7 年度 第 7 回高士区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的審議事項について

3 開催日時

令和 7 年 10 月 16 日（木）午後 6 時 30 分から午後 7 時 45 分まで

4 開催場所

高士地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：上野副会長、上野（美）委員、塩尻委員、高橋会長、田中委員、塙田（誠）委員、日向副会長、保坂委員、山口委員、（欠席 3 名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【高橋会長】

- ・会議録の確認：日向副会長に依頼

次第3 議題「自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

- ・資料1に基づき説明

【高槻会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

次に、「高士区地域協議会アンケートの集計結果（速報）」について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

- ・資料2に基づき説明

【高槻会長】

資料2を事前に確認いただいたと思うが、改めて内容確認の時間は必要か。

(発言無し)

それでは、分野ごとに意見や感想を発表していただく。

まず、「1 人口減少」について、意見や感想がある方は挙手願う。

【上野副会長】

問 1-2、1 とても危機感がある理由に「清里区、諏訪区と同様の減少傾向にショック。これ程の人口減少とは思っていなかった」とあるが、私が9年前に公民館主事になった時は、高士区の65歳以上は38パーセントだったが、現在は40.5パーセントということで、非常に高齢化が進んだと感じている。人口減少は、これからも進んでいくと思う。

【日向副会長】

問1で「あまり危機感がない」という意見が1町内あり、驚いている。

問5の自由記述に「休日が町内会活動になり、負担が多い」とある。町内会活動が一番のコミュニティの場ではあるが、どの町内会も皆さんを集めるのは負担だということと、「小学校、中学校がなくなれば、わざわざ住む必要はない」との記載に驚いている。

【上野副会長】

問3では、「いない」が約50パーセントで、半数以上が戻ってこない地区になっている。問4、選択肢12にその理由が記載されている。

【高槻会長】

問 1 では、おおむね地域全体が危機感を持っているとのことで安心した。

問 1-2 では、魅力がない地区である、コミュニティの減少、これも痛感している。

問 2 では、「通学、通勤に不便」という内容が気になる。

問 4 では、各行事の実施は、コミュニティの場であるので、継続的な行事が重要だと思っていたが、この内容を見ると、実生活に対する取組が必要になると感じた。

問 5 では、移住や定住という大きなテーマに取り組むことを、やはり考えなければと思う。

【田中委員】

牧区から降りてきて、中江十文字から西に家を建てる人が結構増えているようだが、

問 5 の記載にあるように、宅地を造成しないと、高士区に暮らす人はいないと思う。新井柿崎線よりも西の方は人が増えている。山から降りてきているのに、高士区に止まらないということは、やはり問題があると思う。

【保坂委員】

私は問 1 では「まあまあ危機感がある」に回答した。こうすればよいという回答は無く、今の意見のように、市民プラザの横にウォロクできて、住宅団地ができるというようなことでもしなければ人は増えないと思う。しかし今はどこでもそうだが、古い団地はどんどん寂れていき、高齢者だけになっている。全体的に人口が減っているので、それも違うのかと思いながら、何かいい方法があればお聞きしたい。

【塩尻委員】

問 5 の自由記述で「子供は高校まで高士地区に住んでいると思われるが、」とあるが、私の子供も高校までここにいたが、大学で市外へ行ってしまい、多分戻ってこない。地元にあまりない医療系の学部に進んだので、戻ってくる確率は低いと思う。就職先が少ないのは問題である。

【高槻会長】

次に、「2 コミュニティ(1)町内会について」に関して、意見や感想がある方は挙手願う。

【上野(美)委員】

老人会や子ども会などの会自体がない町内を数字にすると、とても多いことが分かる。

【山口委員】

町内の祭りなどは毎年あるが、以前と比べると、参加者が徐々に減ってきている。こ

ればかりは参加を強制するわけにはいかないので難しい。

【塚田(誠)委員】

町内会の中だけで行うとやはり参加人数が限られ、集まりも悪いことが、アンケートを見て、さまざまと思い知らされた。

先日、「サマーカーニバルきよさと坊太郎祭り」を見に行ったが、町内会だけではなく、地区全体で行い、神輿を担いだり花火を上げたりと盛大だった。「ふるさと高士まつり」の延長線上でもっと盛大に行えば、子どもたちもたくさん参加して、楽しい思い出として残るのではないか。そうすると、市外に移っても祭りの時期になつたら戻ってくるのではないか。牧区でも「わくわく秋まつり in 牧区」を開催し、子どもたちがメインとなる内容になっている。高士区もそんな内容のイベントを小規模でよいので開催すれば、人も集まり、コミュニティも広がると思う。

【高槻会長】

問3では「懇親会」が2町内の約14パーセントということで、こういうところを各町内が増やしていけば、コミュニティの場所ができるのではないか。また、「なし」が約64パーセントという回答だが、やはりどこの町内も何か手立てを講じるのは、現状では難しいことが見受けられる。

問4で私が非常に興味を持ち、参考にしたいのが、「30代から50代の交流の輪を設けるためにアンケートを実施。アンケートを基に計画予定」という部分と、「総会後に抽選会。町内会にいただいた物品を景品としている」という部分。町内会の経費を考えると、よいアイデアであり、非常に感心した。

問7では、「インターネット（LINE等のSNS）」による情報共有を今後実施したいと回答した割合が高い。LINE等のSNSの活用は、現代社会では重要な情報源になると思うので、これから実施していかなければいけないと感じた。

【上野副会長】

コミュニティに関して、令和4年まではコロナの関係で、いろいろなコミュニティ活動ができなかつた。3年経つた結果がこの回答である。したがつて、もう少し月日が経てば、もっと伸びるかもしれない。コロナ禍は、非常に大きな打撃だった。

町内会で中止したものに「さいの神」と4町内会が回答している。これはおそらく藁を集めるのが大変なところだと思う。他から藁を買ってきて、さいの神を行う町内会もある。それと問2-2に「行事の形骸化」と5町内会が回答している。今後どうなつてい

くのだろうか。

【塚田(誠)委員】

問7「現在行っている」ものに「地区だよりたかし」や「回覧版」とある。町内会長や年配の人たちは多分見ると思うが、若い人は見ない。そうすると、身近なところではLINE等になると思う。地区の情報を若者は全然見ていないので、参加する感じもない。便りではなくSNSを通じた情報があれば、イベントに来るのではないか。

【日向副会長】

問3では、9町内会が「なし」と回答している。やはり町内会としては、復活させるのに人員的な問題や手間がかかるので厳しいと思われる。コミュニティに力を入れるとしたら、先ほどの意見にもあるように、高士区全体で何かコミュニティの場を作る方がよいと感じた。

【高槻会長】

次に、「2 コミュニティ(2)老人会について」に関して、意見や感想がある方は挙手願う。

【日向副会長】

老人会という言葉自体に抵抗感がある方が非常に多い気がする。私の町内でもそういう話がある。60歳で老人会の話が出るが、孫がいる方ならまだしも、いない方にとって、この老人会という言葉にとても抵抗感があると聞いたことがある。今、私の母も地区公民館の「すこやかサロン」に参加しているが、初めは行くことに少し壁があつたらしい。ところが、参加してみたらとても楽しくて、同じ世代の人たちと交流ができている。それを拡充してあげるのがベストだと思う。ただ、参加したくても会場まで行く手段がなく、行けない方もいるので、その辺も考えてあげられたらと日々思う。

【上野副会長】

まず問1の「ない」が8町内会で、世話をする人が非常に大変なのが理由ではないかと考えられる。その中でも地区の老人クラブ連合会として、夏と秋に様々な大会をやつていて、フリーでも参加できるという案内を出している。フリーで来られるシニア世代の方がいることを知りたい。

問1-2では約50人という非常に会員数の多い老人会があり、そういうところの活動を参考に見るのもよいと思う。先ほどの意見のように「老人会」という名称に抵抗感があるので、「シニア会」や「壮年会」などに変えてもよいと思う。

それと問2で「一泊旅行」や「研修会（スマホ教室、オレオレ詐欺被害防止など）」

活動している町内会もあり、公民館でも開催したいが、なかなか難しい。したがって、そういう活動をしている老人会を見ていただくのも一つの考え方かと思う。

【田中委員】

各町内会もそうだと思うが、町内会行事をやるにしても、当番制で毎年人が変わっていく。その当番が高齢者のひとり住まいでの、なかなか出られないということで当番の仕事を減らしている。懇親会の後片付けなどをしないで済むようにしたところ、どんどん集まる会が減ってきている。以前は小さな会合でも酒を酌み交わしたものだが、今はまずそういう話は出ない。もう酒を飲む機会は年始会と総会の2回くらいで、ほとんどなくなっている。つまみも持ち帰れるよう、各自に缶詰1個など袋で配って、片付けが楽になるようにしている。もっと広域で考えれば何かあるかもしれないが、現在の町内会では、そういうことができる人も徐々に減ってきているので、何か新しく活動するとか、前の行事を復活するといったことは考えられない。

【高橋会長】

確かに「老人会」という言葉に非常に抵抗感がある。高齢化社会とはいえ、70歳、75歳になっても勤めている方が多いので、老人会などの会に入ってもらいたいと声を掛けても、なかなか返事をもらえない。

ちなみに私どもは、老人会ではなくて、高和町と劍の仲間ということで「高劍会」として65歳から80歳ぐらいまでの仲間がいる。その中でボウリングや一泊懇親会を計画している。いろいろな人に声掛けをしながら、人数を何とか集めている。

【塚田(誠)委員】

高士区で老人会ではなく、別のコミュニティ団体を作り、その中でイベントを開催するはどうか。例えば、(1)町内会の問6の「今後実施したい」にウォーキングがあるが、そういう企画をして、様々な人を集めて高士区を散策し、昼には持参した弁当を食べながら、皆で和気あいあいと話すなど、そういうイベントがあれば、コミュニティとして広がっていく。結局、老人会で行う活動はゲートボールやボッチャなどになるが、そうではなく、もっと全体的に集まって皆で和気あいあいと楽しむ。今は健康のためにウォーキングしている人たちが昼間は結構いるので、そういう人たちに声を掛けて、企画し開催すれば面白いと思う。

【高橋会長】

次に、「2 コミュニティ(3)子ども会について」「3 子育て」に関して、意見や感想があ

る方は挙手願う。

【塚田(誠)委員】

3 子育ての問 2 に「学校への送迎」というのが 4 町内会あり驚いた。

【高槻会長】

本当に我々が知りたかった情報として、(3)子ども会についての問 1-2 で子どもがいる世帯数と子どもの人数を把握できたことは、これから活動にいかしていくと思う。

【塚田(誠)委員】

3 子育ての問 1 に「高士ルミネ」に対して回答していただき、貢献できていると思うと、とても嬉しい。

【日向副会長】

稻谷町内会では、子どものいる世帯は 5 世帯で、人数は高士区の中では多い方で 6 人もいる。稻谷の中心のところに広場があり、ブランコや鉄棒などがあるが、夏には高和町や飯田などから自転車で遊びに来ていて、私が帰りに寄ると、とてもにぎわっている。だから稻谷の公園の遊具などを整備してあげたい。子どもたちに聞くと、町内的人数が多いこともあるが、皆で集まる場所というと、この公民館か稻谷しかないと言っているぐらいで、やはりそういうところが大事だと思う。ただ、完全に安全な場所とは言えず、広場が道路に面しているので心配ではあるが、そんな中でもそういう場所を子どもたちに作ってあげないといけないと思う。町内の方から草刈りなど、整備をしていただいている。子どもたちも、公園はきれいだと言っているので、そういうのは大事にしないといけない。

【高槻会長】

公園も町内の中心地というか、周りの人に見守ってもらえるような場所に作った方がよいと思う。私の町内は少し離れているので、子どもたちも行きにくいと思うし、保護者や祖父母が付いていかないと遊べないと感じがあるので、場所を考えてほしかったと思う。

次に、「2 コミュニティ(4)その他の団体について」に関して、意見や感想がある方は挙手願う。

【日向副会長】

町内のコミュニティ団体で割合が一番高いのが「消防団」というのは、考えてしまう。

【高槻会長】

世代交代とかいろいろな部分で、消防団はまとまりがすごくあると聞くが、何かあれば教えてほしい。

【塚田(誠)委員】

消防団には年上の人や入団したばかりの20代の人もいて、人と接するコミュニティとしてはとてもよい。上の方は指示や意見を押し付けずに丁寧に教えていて、若い人も気楽に話せる和やかな雰囲気がある。飲み会では、飲めない人も一緒に楽しめていると思う。町内会のイベントの手伝いを頼めば、スムーズに来てくれる。つながりがあるから何でも頼めるし、若い人も思い付いたことを発言できる雰囲気があるから、コミュニティとして成立しているのだと思う。

町内に団体を求めて、同じ年代の人が集まるだけで結局まとまりがなく終わってしまう。消防の場合、上下関係がよければ、ざくばらんに話せるし、相談に乗ってもらえて、皆が意見を言える雰囲気になる。それがあるかないかだと思う。

【高槻会長】

有志会の活動について、知っている方がいれば、教えてほしい。

【上野副会長】

私の町内会にあるのが有志会なのか分からぬが、毎年夏祭りの時には40代から70代までの委員や有志が集まって親睦会をやっている。町内会や公民館から勧められたわけでもないが、約14年前からやっている。コロナの時には中断したが、その後、今も続いている。最初に立ち上げたのは、私と同じ年代の人たちだと聞いている。

【塚田(誠)委員】

飯田まつりの実行委員は、有志会の中に入っているのではないか。

【山口委員】

私たちよりもずっと若い人が10人ぐらいはいると思う。それがまた仲間を呼んで、人數は増えているが、やはり若い人は少なくなってきた。

【高槻会長】

稻谷でヒマワリを植えたりしているのは有志会ではないのか。

【塩尻委員】

あれは多面的機能支払交付金を利用して、子ども会との共同活動ということで一緒にやっている。元屋敷でも何かやっているのではないか。

【高槻会長】

元屋敷との交流も少しある。何かにつけてまとまって何か作ったり、親睦会をしたりと、盛んだ。祭りも若者が参加して、屋台で何か作るなど、活発に活動している。

【塚田(誠)委員】

南方のゴルフのMG Fも有志会になるのか。高士では高士グリーンクラブというゴルフコンペがあり、南方ではMG Fというゴルフコンペのグループがある。いろいろなところに声を掛け、集まってもらいゴルフに行っている。

【高槻会長】

趣味を共有して輪を広げるのはよいと思う。

本日、いただいた意見は、改めて事務局と整理する。

【鈴木主事】

- ・資料2の表紙の記載について説明

【高槻会長】

以上で、次第3議題「自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第4その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

次月、委員研修を実施予定。市からの報告案件等がある場合は、地域協議会を開催することとする。

【高槻会長】

以上で次第4その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(発言無し)

【日向副会長】

- ・閉会の挨拶

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。